

登録No. S-095
 登録名 Tri-HER/S-1/PAC療法
 催吐性リスク 軽度
 適応疾患 胃癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	S-1	基準量		d1~14	p.o.	分2 朝夕食後	2週投与1週休薬
Rp.2	トラスツズマブ 生食	初回8mg/kg 2回目以降6mg/kg 250mL/body		d1	d.i.v.	初回90minで忍容 性良好であれば2回 目以降30minまで 短縮可	
Rp.3	ファモチジン デキサメタゾン ムン酸カルフェラミン 生食	20mg/body 6.6mg/body 5mg/body 100mL/body		d1・8	d.i.v.	30min	前投薬
Rp.4	パクリタキセル 生食	50mg/m ² 250mL/body		d1・8	d.i.v.	1hr	粘調度高いため、輸液総量の 1.5倍量をDrip-eyelに設定

1クールの間 3週間
 その他（副作用・PS規定等）

注意： トラスツズマブ以外の薬剤で副作用が起きた場合はトラスツズマブのみ単独で継続することが望ましい。
 ※投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 infusion reactionがみられた際は投与中止。
 （再開時期について特に規定はないが臨床症状をよくみて症状が軽度なら継続投与可能。）
 infusion reactionは解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、重症時はO₂投与、ステロイド。
 心機能障害ある際は慎重投与。
 副作用： 骨髄抑制、消化器症状など。
 PS： 0~1
 パクリタキセル初回投与時、心電図モニター装着。
 メンブランフィルター（0.22 μm）付きDEHPfreeの輸液セットを用いて投与。